**関西の産業構造分析～関西経済の強み・弱みを斬る～**

Ⅰ.関西の“今”

1. 統計データから見る関西経済
2. 東京への上場企業本社移転という側面から見る関西企業の衰退

Ⅱ.主要産業別に見る関西の特色と系譜

　a. シェアの高い業種から見る関西

　b. 中小企業の多さから見る、関西経済の脆弱性

　c. ベンチャー企業排出の多さ

Ⅲ.現状の政策と発展

　a. ベンチャー排出

　b. 関西の産業クラスター

　c. その他の政策

　d. 政策的支援を欲している業種とそのための対策

Ⅰ.関西の今

a. 統計データから見る関西経済

　　失業率、倒産件数、外資企業数、教育・研究機関の質など

　　→関西経済のプラス面・マイナス面・背景を分析

b. 東京への上場企業本社移転という側面から見る関西企業の衰退

　　東京の魅力、関西からの本社離れから生じる弊害

Ⅱ.主要産業別に見る関西の特色と系譜

1. シェアの高い業種から見る関西の経済

関西国際空港、大阪港などの海運、空運の便が非常に良いため、輸出入が多く、シェアの高い企業も貿易に関係する企業が多い。産業別にみると、第1次産業が２．２％、第２次産業が３０．３％、第３次産業が６７．５％であり、全国に比べて第２次、第３次産業の比率が高くなっている。

1. 中小企業の多さから見る、関西経済の脆弱性

大阪は、モノの集積地として商人が多く集まるようになり、モノやサービスの需要が高まり、その結果工業の発展をも促したのである。結果、製造業を主とする中小企業が多く占めるようになったのである。脆弱な中小企業もその数の多さから切り捨てることは不可能であり、政府を圧迫し、関西経済の沈下を引き起こしている。

1. ベンチャー企業排出の多さ

京都市を中心としたベンチャー排出促進政策のおかげで、新興ベンチャーが多く誕生し、関西の経済の活発化に一役かっている。京都市には「京都市ベンチャー目利き委員会」というものが存在し、特に京都府が主導となってベンチャーを支援しているため、非常に安定感のある成長を見込むことができる。

Ⅲ.現状の政策と発展

aベンチャー関係

・京都市ベンチャー目利き委員会

・中小企業再生支援協議会

b産業クラスター関係

・近畿経済産業局が展開する産業クラスター

第Ⅰ期（2001～05）・近畿バイオ関連産業プロジェクト

・ものづくり元気企業支援プロジェクト

・情報系クラスター振興プロジェクト

・近畿エネルギー・環境高度化推進プロジェクト

　第Ⅱ期（2006～10）・関西フロントランナープロジェクト　Neo Cluster

　　　　　・関西バイオクラスタープロジェクト　Bio Cluster

　　　　　・環境ビジネスＫＡＮＳＡＩプロジェクト　Green Cluster

cその他

・大阪府における製造業へのサポート

・近畿の企業立地ガイド